

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第8報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：1月5日 10:30～13:30（検鏡11:30～13:30）

天 候：晴れ

調査員：谷川支所養殖組合（阿部弘幸，米倉和久，伊藤敏行，阿部智司）

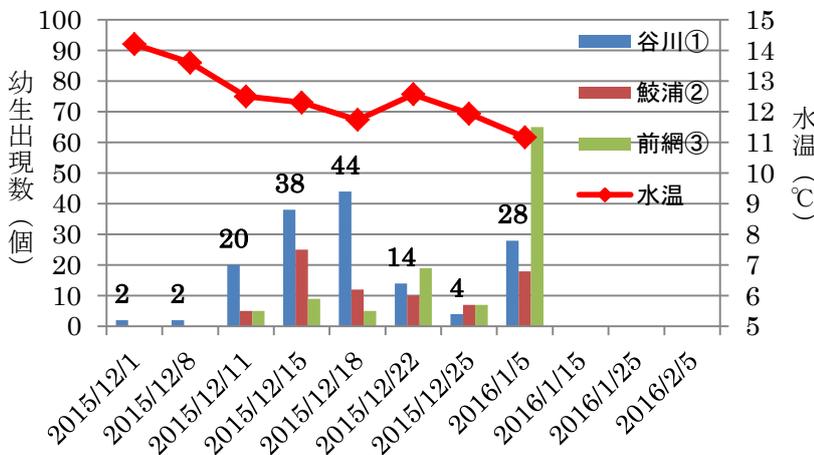
【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は11.1～11.2℃と前回より低下しました。
2. マボヤ幼生の出現状況は、幼生・胚合わせて18～65個と前回より増加しました。
3. 例年であれば、これから大量産卵が見られます。

| 調査点 | 表面水温 (℃) | ネット曳網距離 (m) | 胚(孵化前)・浮遊幼生数(個) | | | (備考欄) |
|------|-------------|----------------|-----------------|------|----|----------|
| | | | 胚(孵化前) | 浮遊幼生 | 合計 | |
| 1 谷川 | 11.1 | 20 | 0 | 28 | 28 | その他ホヤ幼生6 |
| 2 鮫浦 | 11.2 | 15 | 2 | 16 | 18 | その他ホヤ幼生1 |
| 3 前網 | 11.2 | 15 | 44 | 21 | 65 | その他ホヤ幼生6 |

※プランクトンネットは鉛直曳き2回

◆ホヤ浮遊幼生出現数推移



◆ホヤ浮遊幼生出現状況について



① 調査風景



② 調査風景



③ 検鏡風景

